

# 輸出事業計画

※申請者名：株式会社マルサン、有限会社向原農園、品目：鶏卵・液卵

## 1. 輸出における現状と課題

### 【現状】

- 当社は、グループ企業との一貫体制（マルサングループ）により、60年以上前から広島県において鶏卵の生産から加工・販売を行っている。
- 2016年から香港向けに鶏卵をスポット的に輸出していたが、新型コロナウイルス感染拡大により国内需要が低迷したことから、地方銀行の支援により商社とマッチングし、2022年3月から定期的な輸出を開始した。現在は通常のパック卵に加え、現地でニーズの高い卵黄色強化卵など特殊性のある商品を輸出している。
- 一方で、香港においては、店舗内で商品製造を行うスイーツ店やベーカリー店の人気が高まっており、スイーツやパンの原料として冷凍液卵の需要が高まっている。店舗では材料の保管・作業スペースが限られており、1kgの個包装冷凍液卵の要望が高まっている。
- こうした中、株式会社マルサンでは、既に国内向けに1kgの個包装冷凍液卵を製造・販売していることから、鶏卵輸出で連携している商社から、月間20tの冷凍液卵輸出の要望があり輸出を行うこととした。

### 【課題】

- (1) 輸出先国の現地商社からのFSSC22000認証取得要望への対応
- (2) 生産コスト低減及び労働力不足への対応
- (3) 鳥インフルエンザ発生時等、緊急時における供給体制の構築
- (4) 冷凍液卵を輸出する日本及び欧米企業との競合

#### 有限会社向原農園の課題

- (5) 生産規模拡大に伴う、鶏卵生産体制の一元管理体制（生産～洗卵選別包装～出荷）の構築
- (6) 安全安心な生産体制への対応
- (7) 輸出需要への対応と疫病発生時の供給安定化が必要だが、現状は輸出先の衛生基準を満たす高度な処理拠点が不足している。また、生産キャパシティの余力やバックアップ機能が不十分なため、鳥インフルエンザ等の発生時に実需者への供給を維持できないリスクを抱えている。

## 2. 輸出事業計画の取組内容

- (1) 2ヶ所のGPセンターで2018年2月に取得したFSSC22000認証（品目：鶏卵）の更新及び2023年に新設する液卵工場でFSSC22000認証（品目：液卵）取得及び対香港輸出卵取扱施設登録
- (2) 飼料要求率の低い鶏種への切り替えによる飼料費の低減、電気設備の稼働時間設定変更による光熱費削減及び待遇改善による魅力ある職場づくり
- (3) 県外の鶏卵生産者との互助グループ形成による途切れのない輸出体制の構築
- (4) 商社や地方銀行の現地ニーズのフィードバックによる小ロット製品の拡充の検討

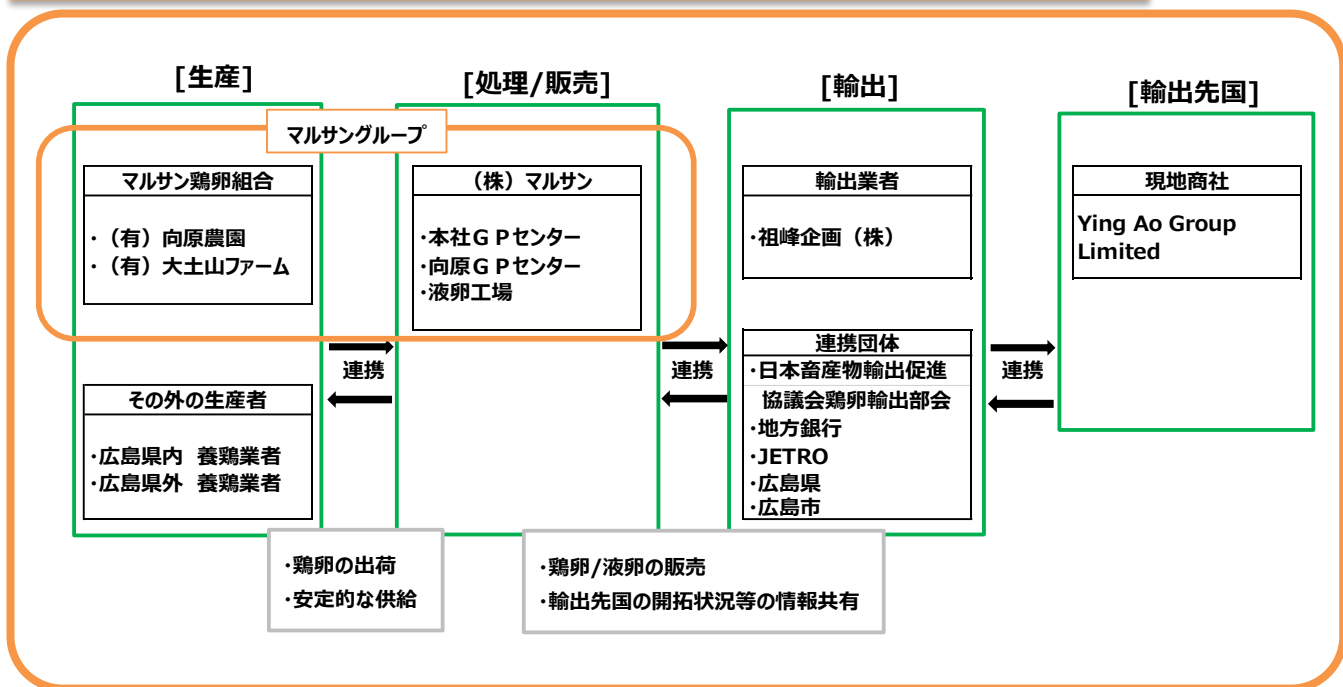
有限会社向原農園の課題に対して、R8当初強い農業づくり総合支援交付金事業を活用し、以下のとおり取組。

- (5) 生産規模拡大に伴う、鶏卵生産体制の一元管理体制については、自社GPセンターを稼働させる。自動化した設備により、低コスト化及び労働力不足対策を図り、収益の向上を目指す。
- (6) タワー型システム鶏卵選別処理設備を導入することで鶏卵の集荷・出荷すべてをコンピューターで制御し、GAPに必要なトレーサデータの一元管理を可能とする。このことにより、安全安心な生産体制が構築される。
- (7) 産地競争力の強化を目的として、新たなGPセンターを構築することで、輸出に必要な鶏卵を安定的に供給可能とする、または、生産規模拡大することによって、鳥インフルエンザ発生時においても安定的に鶏卵を供給できるシステムをより強固にする。

# 輸出事業計画

※申請者名：株式会社マルサン、有限会社向原農園、品目：鶏卵・液卵

## 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



## 4. 輸出目標額

項目		現状 (2021年度)	目標 (2028年度)
鶏卵	輸出額 (千円)	22,756	120,000
	輸出量 (kg)	114,223	505,000
	輸出先国	香港	香港
液卵	輸出額 (千円)	0	40,000
	輸出量 (kg)	0	112,000
	輸出先国	—	香港